



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月2日

上場会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東・名
コード番号 1712 URL <https://www.daiseki-eco.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 浩也
問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部長 (氏名) 丹羽 利行 (TEL) 052-819-5310
四半期報告書提出予定日 2023年10月10日 配当支払開始予定日 2023年10月26日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	13,632	85.2	1,741	281.2	1,754	275.6	1,092	429.2
2023年2月期第2四半期	7,358	△19.1	456	△64.6	466	△64.0	206	△74.1

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 1,135百万円(264.3%) 2023年2月期第2四半期 311百万円(△67.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	65.00	—
2023年2月期第2四半期	12.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	27,202	16,944	58.0
2023年2月期	21,954	15,945	67.8

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 15,792百万円 2023年2月期 14,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年2月期	—	5.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,708	32.2	2,551	85.6	2,577	82.3	1,521	109.8	90.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年2月期2Q	16,827,120株	2023年2月期	16,827,120株
2024年2月期2Q	35,781株	2023年2月期	3,181株
2024年2月期2Q	16,807,385株	2023年2月期2Q	16,810,264株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間において、株式会社杉本商事の連結子会社化に伴い、報告セグメントの区分方法を見直し、従来の「廃石膏ボードリサイクル事業」「その他」事業を「資源リサイクル事業」に変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご参照ください。

なお、セグメントごとの比較情報については、前第2四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、社会経済活動の正常化が進んだことから、景気は緩やかな回復基調となりましたが、長期化するウクライナ情勢、世界的な金融引き締め等による海外経済の下振れリスク、円安の進行等による物価上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属する建設業界におきましては、公共建設投資、民間設備投資ともに堅調に推移しておりますが、建設資材・エネルギー価格の高止まりや労働者不足等により先行きについては引き続き予断を許さない状況となっております。

このような経済状況下において、当社グループの主力事業である土壌汚染調査・処理事業については、引き続き高付加価値案件の受注拡大に向け、積極的なコンサル営業が功を奏し、大規模土壌処理案件が当社グループの業績を大きく牽引しました。資源リサイクル事業については、株式会社グリーンアローズ中部及び株式会社グリーンアローズ九州両社とも廃石膏ボード入荷量が堅調に推移し、株式会社杉本商事の連結子会社化に伴い、同社及びその子会社の経営成績を当第2四半期連結会計期間より反映しております。その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高13,632百万円(前年同期比85.2%増)、営業利益1,741百万円(同281.2%増)、経常利益1,754百万円(同275.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,092百万円(同429.2%増)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(土壌汚染調査・処理事業)

中京エリアの工場再開発案件によって、リサイクルセンターの稼働率が高い水準で進捗しました。また、関東エリアの大規模工場中埋設廃棄物・汚染土壌撤去工事案件及び関西エリアの大規模工場廃棄物撤去コンサル案件について、顧客への高付加価値サービスを提供することによって採算性が向上し、利益率の向上に寄与しました。その結果、売上高11,556百万円(前年同期比97.0%増)、営業利益1,828百万円(同277.9%増)となりました。

(資源リサイクル事業)

廃石膏ボードリサイクル事業及びPCB事業は前年同期と比較して堅調に推移したものの、バイオディーゼル燃料(BDF)事業はコスト高の影響等により利益は悪化しました。しかしながら、当第2四半期連結会計期間より株式会社杉本商事及びその子会社の業績が反映されたことにより、売上高2,189百万円(同35.8%増)、営業利益451百万円(同21.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は27,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,248百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、のれん及び顧客関連資産が増加したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は10,258百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,249百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金、未払法人税等及び長期借入金が増加したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は16,944百万円となり、前連結会計年度末に比べ999百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金及び非支配株主持分が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想につきましては、2023年6月30日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年10月2日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	886	1,958
受取手形、売掛金及び契約資産	3,534	5,502
棚卸資産	325	442
その他	352	134
貸倒引当金	△4	△8
流動資産合計	5,094	8,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,786	5,871
土地	7,908	8,175
建設仮勘定	144	588
その他(純額)	1,943	1,804
有形固定資産合計	15,783	16,440
無形固定資産		
のれん	-	867
顧客関連資産	-	922
その他	29	138
無形固定資産合計	29	1,928
投資その他の資産		
その他	1,049	805
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,047	804
固定資産合計	16,860	19,173
資産合計	21,954	27,202
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,439	1,973
短期借入金	1,200	1,200
1年内返済予定の長期借入金	981	1,150
1年内償還予定の社債	-	8
リース債務	91	87
未払金	351	425
未払法人税等	141	702
賞与引当金	144	184
その他	170	561
流動負債合計	4,520	6,294
固定負債		
社債	-	16
長期借入金	1,187	3,581
リース債務	150	128
役員退職慰労引当金	-	30
退職給付に係る負債	146	180
その他	3	27
固定負債合計	1,488	3,963
負債合計	6,008	10,258

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,287	2,287
資本剰余金	2,089	2,088
利益剰余金	10,260	11,268
自己株式	△2	△35
株主資本合計	14,634	15,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	252	182
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	251	181
非支配株主持分	1,059	1,152
純資産合計	15,945	16,944
負債純資産合計	21,954	27,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	7,358	13,632
売上原価	5,939	10,665
売上総利益	1,419	2,967
販売費及び一般管理費	962	1,225
営業利益	456	1,741
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	11
補助金収入	—	0
受取保険金	—	7
鉄屑売却収入	2	1
その他	0	7
営業外収益合計	13	28
営業外費用		
支払利息	3	10
支払手数料	—	4
その他	0	0
営業外費用合計	3	15
経常利益	466	1,754
特別利益		
固定資産売却益	3	14
受取賠償金	—	67
その他	—	0
特別利益合計	3	81
特別損失		
固定資産除却損	3	3
減損損失	—	4
特別損失合計	3	7
税金等調整前四半期純利益	466	1,828
法人税、住民税及び事業税	175	673
法人税等調整額	△20	△50
法人税等合計	155	623
四半期純利益	311	1,205
非支配株主に帰属する四半期純利益	104	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	206	1,092

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	311	1,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△70
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	0	△69
四半期包括利益	311	1,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207	1,022
非支配株主に係る四半期包括利益	104	112

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	土壌汚染 調査・処理事業	資源リサイクル 事業	計		
売上高					
中京	2,625	1,056	3,682	—	3,682
関東	1,750	16	1,766	—	1,766
関西	1,487	3	1,491	—	1,491
九州	—	417	417	—	417
顧客との契約から 生じる収益	5,863	1,494	7,358	—	7,358
外部顧客への売上高	5,863	1,494	7,358	—	7,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	117	120	△120	—
計	5,866	1,612	7,478	△120	7,358
セグメント利益	483	370	854	△397	456

(注) 1. セグメント利益の調整額△397百万円は、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△406百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	土壌汚染 調査・処理事業	資源リサイクル 事業	計		
売上高					
中京	5,958	1,143	7,102	—	7,102
関東	3,794	53	3,848	—	3,848
関西	1,800	491	2,291	—	2,291
九州	—	390	390	—	390
顧客との契約から 生じる収益	11,554	2,078	13,632	—	13,632
外部顧客への売上高	11,554	2,078	13,632	—	13,632
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	111	113	△113	—
計	11,556	2,189	13,746	△113	13,632
セグメント利益	1,828	451	2,280	△539	1,741

(注) 1. セグメント利益の調整額△539百万円は、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△562百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

株式会社杉本商事の連結子会社化に伴い、当第2四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の「廃石膏ボードリサイクル事業」から「資源リサイクル事業」に変更しております。また、従来の「その他」事業は「資源リサイクル事業」に含めております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
土壌汚染調査・処理事業	土壌汚染調査・工事、土壌処理
資源リサイクル事業	廃石膏ボード、BDF、PCB、古紙・一般廃棄物処理

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に株式会社杉本商事の株式を取得し、同社及びその子会社を連結の範囲に含めたことに伴い、「資源リサイクル事業」セグメントにおいて、のれんの金額が883百万円増加しております。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。